

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和8年2月27日 (第2回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	兵庫県三木市 (28215)
地域名 (地域内農業集落名)	細川地区 (佐野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	14.08 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	14.08 ha
② 田の面積	14.07 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	2.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・農家数は14戸で、全戸が自己完結型で水稲経営(品種:山田錦、キヌヒカリ等)を行っている。
- ・13戸が佐野営農組合の構成員で、水稲の基幹3作業(耕耘、田植え、収穫)を請け負っている。
- ・一部の農地を、三木市認定農業者である「株式会社 兵庫みらいアグリサポート」が耕作している。
- ・ほ場整備が完了しているが、パイプラインが整備されていないため、水管理に労力を要し、規模拡大が困難な状況となっている。
- ・意向調査結果では、1名が規模拡大の意向を持っている。
- ・意向調査回答者14名のうち、6名(43%)が65歳以上と高齢化が進んでいる。また、4名が将来、規模縮小、離農の意向を有しており、今後の地域農業のあり方や、将来の農地利用についての検討が必要になっている。
- ・水稲の収入と支出があっておらず、今の水稲経営は業として成り立っていない。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・作目は引き続き、水稲(品種:山田錦、キヌヒカリ等)を中心に生産を行う。
- ・今後も引き続き、個別経営を基本としつつ、空き農地が発生した場合は、認定農業者や規模拡大志向農家に集積を図る。
- ・地区内の農業後継者に対し、大型特殊免許の取得を進めるとともに、機械作業にも慣れてもらいながら、営農組合のオペレーターとして、将来の担い手を育成する。
- ・現在、佐野営農組合が水稲栽培全ほ場について基幹3作業をオペレーター方式で作業を行い、適正に農地利用されている。今後、空き農地の発生など佐野地区の農業の状況を踏まえながら、営農組合の運営を検討する(法人化のメリット・デメリットの整理、営農組合の広域化等)。
- ・水稲以外で収益が上がる作物の導入を検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農家の高齢化が進む中、家族内で担い手が確保できるように努力する。しかし、家族内で労力が確保できず、営農継続が困難な場合は、農地バンクへの貸し付けを進め、認定農業者や規模拡大志向農家など意欲ある農家への集積を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	6.1	%	将来の目標とする集積率
			6.1 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現在は、個別に農地利用を行っているため、団地化は図られていない。今後、佐野営農組合、認定農業者や規模拡大志向農家が耕作する農地について、団地化を進め、作業の効率化を図る。団地数や団地面積は未定である。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農業委員、農地利用最適化推進委員と調整し、佐野営農組合、認定農業者や規模拡大志向農家等の担い手を中心に、農地バンクを通じた集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
中間管理事業制度を地区農家に周知を行いながら、現在の利用権設定や、規模縮小・離農に伴う利用権設定は、中間管理事業を活用するよう誘導する。
(3) 基盤整備事業への取組
すでに基盤整備事業は完了している。 将来、営農組合が広域化した時には、水管理の効率化を図るため、パイプラインの整備を検討する。また、農地所有者の理解のもと、ほ場の大区画化も併せて検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
今後、佐野地区で新規就農を希望する者がある場合は、地域の貴重な担い手として受け入れできるルールを作り、三木市、加西農業改良普及センター、JA兵庫みらいと連携し、多様な担い手確保に取り組む。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
引き続き、良質な山田錦生産に欠かせない病害虫防除や、乾燥調製はJA兵庫みらいに委託する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。
- ③佐野営農組合が今後、機械を導入、更新する際は、作業の省力化を図るため、スマート機器の導入を検討する。
- ⑦多面的機能支払交付金等の活用により、農地、水路、法面等の保全を進め、継続的な農業生産や快適な住環境づくりに取り組む。
- ⑩水稲以外の高収益作物を検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
別紙のとおり									
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			ha	ha		ha	ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
		育苗、病害虫防除、乾燥調製	水稻
		耕耘、田植え、収穫	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

【別紙】

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
利用者			0.42 ha	ha		0.00 ha	ha		1
利用者		水稲その他	1.39 ha	ha	水稲その他	1.39 ha	ha		2
利用者		水稲大豆	1.72 ha	ha	水稲大豆	1.72 ha	ha		4
利用者		水稲	0.41 ha	ha	水稲	0.41 ha	ha		8
利用者		水稲	1.17 ha	ha	水稲	1.17 ha	ha		9
利用者		水稲	1.64 ha	ha	水稲	1.64 ha	ha		12
利用者		水稲	0.34 ha	ha	水稲	0.34 ha	ha		13
利用者		その他	0.22 ha	ha	その他	0.22 ha	ha		14
利用者		水稲	0.19 ha	ha	水稲	0.19 ha	ha		19
利用者		水稲	1.33 ha	ha	水稲	1.33 ha	ha		20
認農		水稲大豆	0.86 ha	ha	水稲大豆	0.86 ha	ha		22
利用者		水稲	0.62 ha	ha	水稲	0.62 ha	ha		24
利用者		水稲露地野菜その他	1.64 ha	ha	水稲露地野菜その他	1.64 ha	ha		25
利用者		水稲露地野菜	0.41 ha	ha		0.00 ha	ha		26
利用者			1.17 ha	ha		0.00 ha	ha		27
計			13.52 ha	ha		11.52 ha	ha		